

あいちの印刷

7

2013.7
No.500



富良野の夏

も く じ

巻頭言「平成25年度の組織・共済委員会」 ／組織・共済委員長 岩瀬 清	11
全日本印刷工業組合連合会 中部地区印刷 協議会平成25年度上期会議(富山県会議)	12
全日本印刷工業組合連合会 「平成25年度事業計画」	14
報告事項 産業デザイン室、 MUD事業推進室、CSR推進専門委員会	16
日印産連 化学業界に要望書	17
障害者の法定雇用率が引き上げになりました	18
日印産連・グリーン基準	19
身近な催し物のお知らせ	19
「Japan Color認証制度」取得セミナーより	20
印刷機材団体協議会「JGAS2013」	21
Pickup Data／事務局だより／お知らせ	22

巻頭言

「平成25年度の組織・共済委員会」

組織・共済委員長 岩瀬 清

今年になってからの日本経済はアベノミクスによって株価は上昇し、円安が進み大手企業は為替差益により利益を出していますが、私たち中小企業では、逆に円安により原材料や資源の値上げがあり、厳しい経営を迫られているのが現状ではないでしょうか。

そんな厳しい状況のなか黙って待っていても決して良い方向には導かれません。こんなに不景気なのは日本経済のせいだとか、組合がなにもしてくれないと思っている組合員さんの声を聴きます。でもこんな時こそ健全な財務管理と利益体質の構築を各社が行い、組合より発信している情報を上手に取り入れてください。

組織・共済委員会では全印工連推奨のライフピア（障害保険）を取り扱ってきましたが、昨年組合で従業員のメンタルヘルス対策事業を行い、従業員の皆さんが職場でのストレス（リストラへの不安・同僚とのコミュニケーショントラブル・管理職の心理的負担）や家庭でのストレス（住宅ローンの返済・介護による負担や不安・子育ての悩み）を多くかかえていることが解りました。

そこで、メンタルヘルス対策として幅広く利用されているサービス「こころ」の問題に対して、電話や面談によるカウンセリングやより良い医療を選択するために総合相談医によるセ

カンドオピニオン、総合相談医が病症等に合わせて専門医を紹介、医師・看護師に電話で健康相談（24時間・365日体制）の付帯サービスが利用できる新医療保障プラン（病気で入院や手術に対応）の推進に努めてまいりました結果、多くの組合員のご加入を頂きありがとうございました。

また、7月末まで愛知県商工共済協同組合の自動車事故費用共済の加入推進を行っていますので、是非この機会にご加入ください。

昨今は社会環境の変化やライフサイクルの多様化に伴い 費用のかけ方、配分の優先順位などが大きく変わっています。単に他人の真似をするのではなく、自分自身の夢や目標を実現させる為に将来の見極めをどのようにしていきたいのか、その為にはどのようにすべきなのかをしっかりと考え、描いていく事が極めて重要です。収支状況を踏まえ、具体的な計画とマネープランを立て実行する。すなわち生涯設計を実行していくことです。

①現状認識して、②将来を見通し、③リスクを確認し、④具体的に実行し、①から④を定期的に行う。

以上組合員の皆様とともに組合運営を遂行して参りますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

KONICA MINOLTA Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

自校正

Digital Konsensus Premium Ultimate Edition

デジタル印刷

Falboard AQUA

環境対応フラット

ケミカルレスCTPシステム

bizhub PRESS C7000

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5階506号室 TEL. 052-229-4624(代)

■全日本印刷工業組合連合会 中部地区印刷協議会平成25年度上期会議（富山県会議）



富山県会議の様

全印工連フォーラムで「新たな産業ビジョン」発表

平成25年度中部地区印刷協議会（中部地区協／四橋英児会長・岐阜県印刷工業組合理事長）の上期会議（富山県会議）が6月14日午後1時より、富山市の「オークスカナルパークホテル富山」において開催され、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）より、島村博之会長、木野瀬吉孝副会長（愛知県印刷工業組合理事長）、生井義三専務理事の来賓と中部5県（愛知・岐阜・三重・石川・富山）の印刷工業組合理

事長及び役員ら55名が出席しました。全体会議では、全印工連平成25年度事業計画を発表、分科会は、5つの分科会と理事長会が開催され、それぞれ活発な意見交換が行われました。（なお、愛印工組からは、細井俊男、鳥原久資、岡田邦義、鈴木正各副理事長、河原善高専務理事、岩瀬清、鬼頭則夫、松岡裕司、木村吉伸、森俊一郎、山田慎二各理事の11名が出席しました）。（敬称略）

〈上期会議前半〉

上期会議は、司会を河原善高中部地区協事務局長（愛知県印刷工業組合専務理事）が務め、冒頭、開催県を代表して東澤光明富山県印刷工業組合理事長



東澤富山県理事長



四橋中部地区協会長

が挨拶に立ち、富山県会議への出席に感謝の意を表した後、「経済状況が良くなるとの認識が高まり、少し明るさが見えてきたようですが、ここにきて急に風船が破裂するようにしぼんでしまい、何か先行きに不透明感が出てきました。がしかし、こうした時こそ我々業界は一致団結し、ことにあたらなければなりません。そのためにも、本日は実りある討議をし、有意義な会議にさせていただきたいと思います」と開会挨拶。続いて、四橋会長が立ち、「上期会議では、全印工連の平成25年度事業計画の説明がされます。どれも重要な事業ですので、しっかりと勉強をして下さい。本日は、島村会長、生田専務理事が出席されていますので、事業についての疑問、質問があればどんどん聞いて下さい。その上で、組合に帰られて“きちんとやるべきことはやっていた

だきたい”とお願いしておきます。今日1日皆様のご協力を得て、意義ある富山県会議になるよう切望します」と挨拶。

次いで、島村全印工連会長が挨拶に立ち、「昨年5月に会長を拝命し無我夢中でここまでやってきました。これも皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます」とお礼の言葉の後、組合の存在価値について、「昔は、仲間からの仕事の供給や諸資材の共同購入などでの存在価値がありました。しかし今は、経営に役立つ、自社の立ち位置をしつかり確認できる、そうした情報の提供が組合の価値だと認識しています」と指摘した上で、「事業計画の中からピックアップし説明を加えます」と、次の事項を詳報しました。

「産業戦略デザイン室は、3年前に成長戦略提言を発表しました。この第2弾を今年10月4日東京ビッグサイトで行います全印工連フォーラムにおいて産業成長ビジョンを発表いたします。全印工連の組合員の平均は従業員数が19人、売上げが4億円強です。こうした企業規模の目線に立って、将来の我々の印刷業界はどうなっていくのか、どうあるべきなのか、さらに詳細に提言していきます。また、集大成としての冊子も発行いたします」と紹介し、10月に開催のフォーラムへの出席を促しました。

さらに、全印工連の新事業であるクラウドデータバックアップサービス事業についてふれ、「現在、多くの会社では自社のサーバにデータを保管しながら業務行っているのが現状かと思えます。しかし、もし災害が起きたりしますと、こうした貴重な資産が消失してしまう可能性があります。金銭的な損害もさることながらお客様に多大なるご迷惑を掛けることとなります。大切なデータを守るための備えとして、新たな事業、クラウドバックアップサービスを開始することになりました。ちなみに月額利用料金は1TB 19,800円です。破格のプライスを実現していますので、是非、多くの方に利用していただきたいと思えます」と、参加を呼びかけました。

さらに島村会長は、印刷用紙に関するアンケート調査、メールアドレスの登録促進についてもふれ、それぞれ協力依頼を行いました。

続いて、議案審議に移り、平成24年度収支決算、平成25年度予算(案)が上程され、いずれも原案通り承認されました。

次いで、生井専務理事が全印工連平成25年度事業概要説明を行いました。(平成25年度事業計画／基本



島村全印工連会長



生井全印工連専務理事

方針・実施事業、また、報告事項については別項参照)

〈上期会議後半〉

小休止の後、分科会・理事長会が開かれました。分科会は、①経営革新・マーケティング分科会(細井副理事長、鬼頭、木村、山田理事)、②環境分科会(鳥原副理事長)、③組織・共済分科会(岩瀬理事)、④教育・労務分科会(岡田副理事長、松岡理事)、⑤取引公正分科会(鈴木副理事長、森理事)の5分科会。そして、理事長会(木野瀬理事長、河原専務理事)がそれぞれ行われました。()内は愛印工組出席者。

全体会議後半に入り、分科会・理事長会での討議内容の報告が行われました。報告者は次のとおり。

経営革新・マーケティング分科会／小島寛祐(石川県理事)、環境分科会／塚本誠(三重県理事)、組織・共済分科会／須垣貴雄(富山県理事)、教育・労務分科会／松岡祐司(愛知県理事)、取引公正分科会／鈴木岳志(岐阜県理事)、理事長会／水谷勝也(三重県理事長)。

(なお、分科会・理事長会の報告内容につきましては、次号に詳報予定)

分科会終了後、意見交換がもたれた中で島村会長が、「中部地区協に始めて出席させていただき感心したことが、会議のやり方が他の地区協と違う点です。他では教室スタイルの設営であるのに対し、ここでは、お互いの顔が見えるように口の字スタイルに設営されている。これはいいことだと思います。この設営の方法を他の地区協にも進めてみたいと思います」との感想が述べられた。

閉会の辞を細井愛印工組副理事長が行い富山県会議は終了しました。

その後、交流会の場が持たれ、親睦と情報交換に華が咲きました。

【基本方針】

全印工連では、各工組と連携しながら、やる気のある会社の発展のために役立つ連合会を目指して諸事業に取り組む。

具体的には、今年10月に開催する全印工連フォーラムにおいて、産業戦略デザイン室から「新たな産業ビジョン」を発表する。

CSRの第1期募集は46社から申請申し込みがあった。募集回数は年4回、多くの組合員からの申請を期待する。印刷産業連携推進室は、印刷業界全体の向上、発展に向けてさらなる連携強化に努める。MUD事業は、第7回コンペティションの実施とセミナー開催支援を中心に展開していく。

委員会各事業では、〔経営革新・マーケティング事業〕として、経営基盤強化を目的とした印刷産業経営羅針盤のさらなる理解を深めるための「印刷産業経営羅針盤・実践ツール」を用いたセミナーコンテンツの提供とマーケット創造研究の取り組み、〔環境・労務事業〕では、化学物質の健康障害防止対策への継続的な取り組みと「印刷業2013年の環境対策セミナー」の企画・開催支援、GP（グリーンプリンティング）認定制度や環境優良工場表彰の普及促進、〔組織活性化事業〕では、キャンペーンを中心とした各種共済制度の推進、メールマガジンの配信、〔教育・研修事業〕では、経営の見える化を中心とするセミナーの実施、全印工連特別ライセンスプログラムの推進、Webポータルシステムの研究、〔CSR事業〕は、CSRの普及・啓発とワンスター認定制度の普及・拡大のための周知活動強化など、積極的な事業展開を行なっていく。さらに、官公需入札制度改善への取り組み、資機材問題への対応、全青協活動への支援、事務局機能強化のための業務改善も引き続き推し進めていく。

【実施事業】

(1)産業成長戦略のデザイン

昨年度から推進してきた経営構造改善事業、産業成長戦略ビジョン、組織構造改善事業のエッセンスをまとめ、今年10月に行われる全印工連フォーラムで「産業成長戦略ビ

ジョン」を策定し、集大成として冊子を発行する。また、海外の印刷トレンドや組合事業の活性化についての調査・研究を行う。

(2)印刷関連産業との連携強化

印刷関連業界との連携を進め、印刷関連業界全体の発展に向けた研究に着手する。併せて、資機材情報の双方向の受発信の促進及び各委員会事業の支援を積極的に行い、全印工連の対外窓口としての機能強化を図る。

■全日本印刷工業組合連合会

「平成25年度事業計画」

(3)メディア・ユニバーサルデザイン活動の推進

今年度も引き続き、「第7回MUDコンペティション」を実施し、各種セミナーの開催とともに、組合内外へのMUDの周知・啓発に努める。

また、斬新なアイデアに溢れ、社会への貢献が期待できるコンペティションにおける優秀な作品については、その製品化に向け推進室が橋渡しとなりメーカーへの働きかけを行う。

さらに、各地域で開催されるMUD行事に対しては、啓発パネルなどの貸し出しを行い、連携・協力体制を強化し、地域におけるMUD活動を支援する。

(4)経営革新・マーケティング事業の推進

組合各社がソリューション・プロバイダーへと変革するため、経営改善による利益創出と新市場創出への支援を行う。具体的な収益構造改善支援策として「印刷産業経営羅針盤」活用の啓発を行う。実際の経営で「印刷産業経営羅針盤」を用いてもらうために、昨年度開発した実践ツールを使った経営改善セミナーを提供し運用促進を行う。

多様化するニーズに応じて

オフセットインキ Advanced PREMIER ニューアドバンスプレミア	板墨プロセスインキ Fusion G フュージョンG	カールトン用UVインキ Dai CURE ABILIO アビリオ
100%植物油型収量インキ Naturalith 100 ナチュラルリス100	新世代エッジ液 Presarto プレサート	NEW 給水ローラーパッケージ DIC水棒ECOパック 〔DIC水棒洗淨用ECO〕+〔DIC給水処理用ECO〕

DICグラフィックス株式会社
■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15

新市場創出への取り組みとしては、国内外のソリューション・プロバイダーの事例研究や関連他業界との連携を推進し、各企業が戦略立案するための情報提供を行う。さらに、経営判断に重要な資料となる印刷業経営実態調査の返信率を向上させる施策を行う。

(5)環境・労務事業の推進

昨年度は胆管がん問題が発生し、印刷事業場における化学物質の取り扱いの周知を図ったが、本年度も継続して、日

□産業成長戦略、□印刷関連産業との連携、□メディア・ユニバーサルデザイン活動、□環境・労務事業、□教育・研修事業、□CSR事業、□資機材問題

印産連との連携を強化して労働衛生対策の周知を図り、GP（グリーンプリンティング）認定制度の運営協力及び有機溶剤の代替可能なGP認定資機材情報の提供を行う。

また、環境・労務関係法令の研究と対応及び関連情報の収集・提供を進めるとともに、複雑化・多様化する環境ニーズへの対応を図るため、インターネットを活用したISO14001取得支援事業「環境経営印刷ネットワーク」の拡充、新セミナーとして印刷会社が取り組むべき最新の労働衛生対策や環境対策を解説する「印刷業2013年の環境対策セミナー」の開催支援など、環境・労務問題に対する改善に向けた諸事業を展開していく。

(6)組織活性化事業の推進

組織関連情報の収集・提供を行い、組合機能の強化に努めていく。併せて、生命共済・総合設備共済・医療共済を中心とした各共済制度の積極的な加入促進を行う。その他、全日本印刷産業政治連盟と連携しながら、政策的課題への対応を図っていく。

(7)教育・研修事業の推進

引き続き“見える化セミナー”による啓発活動を通じて収益改善を目的とした企業改革に向けた有益な情報提供を行っていくとともに、制度教育事業の改善・改革については、各工組の協力を得て制度教育事業を実施しつつ、制度教育の洗い出しを行い制度教育の改善・改革に結び付けていく。

「全印工連特別ライセンスプログラム」事業は、引き続き参加企業を対象にテクニカルセミナーを企画開催し、併せてセミナー参加が難しい地方の参加企業に対しWeb視聴を実施することにより、本事業の満足度を高め、契約更新並びに次期参加募集に向けての体制を整えるべく諸活動を展開する。なお、「印刷産業連携推進室」との連携事業として、昨年度「Webポータルシステム研究会」設置を受けて、本年度はその関連情報の収集、企業視察及び報告会を行う。

(8)CSR事業の推進

現代社会において、企業が継続的に成長するためには、コンプライアンス、環境、品質、情報セキュリティ、社会貢献などCSR（企業の社会的責任）に基づく経営が求められている。特に、地域密着型の中小印刷業界においては、地域社会から必要とされる魅力ある印刷会社になるために、業態変革やソリューション・プロバイダーの前提条件としてCSRを位置付け、中小印刷業のCSR規格を作成し、組合員企業がCSRに取り組むきっかけとして創設した「全印工連CSR認定制度」を柱に事業を推進していく。

本年度は、CSRの一層の普及・啓発に取り組むとともに、全印工連CSR認定の標準認定であるワンスター認定の普及拡大、ツースター認定（上位認定）及びスリースター認定（最上位認定）の制度化に取り組み、積極的にCSRを実践する企業の成長・発展を支援する。

(9)資機材問題への対応

用紙価格など動向調査の実施により、資機材情報の収集と提供に努め、併せて、供給の安定化に向け、関連団体と連携をとりながら機動的な対応を図るものとする。

なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを
必要なときに必要な期間だけ
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大 阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東 京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254/紹介事業許可番号 27-ユ - 030174

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■ 派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合会社を目指す

 **株式会社 モトヤ**

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035名古屋 市東区黒門町 128 ☎(052)935-5315

大 阪 〒542-0081大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東 京 〒104-0032東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

産業デザイン室、MUD事業推進室、 CSR推進専門委員会

■産業デザイン室の報告事項

①産業成長戦略ビジョンの策定（冊子の発行）／今年の10月4日（金）に開催される「全印工連フォーラム2013」において発表する「産業成長戦略ビジョン」の策定に向け鋭意準備を進めている。冊子名、内容など詳細は、決定次第各工組に案内。

②全印工連フォーラム2013の企画及び運営／本年度の「全印工連フォーラム」は、本委員会にて企画・運営を行う。「産業成長戦略ビジョン」のプレゼンテーションの方法について具体的な検討を進めている。

③海外の印刷トレンドの調査・研究／海外での印刷トレンドを調査・研究し、今後の事業計画立案や国への働きかけなどにフィードバックさせていく。

④組合事業の活性化の研究／育成研究、「日本の印刷」の活用、個別情報配信、委員会情報の配信など。

■MUD事業推進室の報告事項

①「第7回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」の実施／作品募集期間は2013年9月2日（月）～11月29日（金）の3ヶ月間。審査は12月中旬に行い、表彰は2014年2月もしくは3月を予定。

②MUDセミナー（組合支援セミナー、オープンセミナー）の実施／既存の印刷物をMUD化することで得られる社会的意義や他社との差別化を図る手法を解説するMUDセミナーは、社会に浸透しつつあるユニバーサルデザインに対応するため、印刷会社が取るべき対応策を簡潔にまとめている。

③MUD作品の社会貢献・還元活動（製品化の橋渡し支援など）／MUDコンペティション入賞作品を中心に、メーカーへ製品化の働きかけを行っている。これまでに、第4回の学生部門最優秀賞「UD封筒」と第5回学生部門経済産業大臣賞「かんたんおりがみ」が榊山櫻によって製品化され、好評を得ている。

④各地域におけるMUD活動との連携・協力／工組単位でMUDコンペティションの開催や展示会などを開催するにあたり、全印工連では受賞作品の貸し出しなどの連携・協力を行っている。

■CSR推進専門委員会の報告事項

①CSRの普及・啓発の推進について／全印工連では、地域社会から必要とされる魅力ある印刷会社になるために、業態変革やソリューション・プロバイダーの前提条件としてCSRを位置付け、昨年9月に発刊したCSR入門テキスト「戦略的CSRのご提案」の改定、組合支援CSRセミナーの開催協力及びCSR認定制度説明会の開催支援など、CSRの一層の普及・啓発に取り組む。

②全印工連CSR認定事業の推進について／組合員企業がCSRに取り組むきっかけとして創設した「全印工連CSR認定制度」について、本年度は、標準認定であるワンスター認定の普及拡大を図るとともに、上位認定であるツースター認定及び最上位認定であるスリースター認定の制度化に取り組み、積極的にCSRを実践する企業の成長・発展を支援する。また、全印工連CSR認定を判定する外部の有識者で構成する「全印工連CSR認定委員会」における助言をもとに、CSR認定の取り組み項目である「CSR取り組み項目チェックリスト」の基準の見直しを適宜行うとともに、CSR認定に関する疑問や質問に対応するQ&A事例を蓄積するなど、認定事業の基盤整備を図る。

平成25年度CSR認定スケジュールは、第2回ワンスター認定の募集期間は5月～7月、認定登録は9月。第3回募集期間は8月～10月、認定登録は12月、第4回募集期間は11月から2014年1月、認定登録は2014年3月。

③全印工連CSR認定制度の周知活動について／業界内外の認知度を高めるため、全印工連ホームページや業界紙、一般紙、経営情報誌、環境・CSR専門誌などの各媒体を通じて情報を発信し、広く周知を図る。

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・省材・LEDの
株式会社

AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
販売営業本部 TEL:052(220)5511 FAX:052(220)5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



■日印産連

化学業界に要望書

有害性の低い化学物質の使用促進と
情報明示求める

日本印刷産業連合会・労働衛生協議会は、日本化学工業協会と印刷関連洗浄剤メーカーに対して、洗浄剤などの改善と情報提供に関する要望書を提出した。各印刷事業所が使用している洗浄剤などの危険有害性の情報が十分でないといった判断から提出に踏み切ったもの。要望書では、より有害性の低い化学物質の使用促進や情報明示を求めている。

【洗浄剤関連80社にも提出】

日印産連から出された要望書は、「印刷業界における化学物質ばく露防止策推進のための洗浄剤などの改善のお願い」と題し、5月31日に一般社団法人日本化学工業協会を訪問し提出した。印刷関連洗浄剤メーカーなどに対しては、同日付で80社に直接送付された。

日印産連は、昨年5月以降の校正刷り事業所における胆管がん発症問題に対応し7月に労働衛生協議会（岩崎好陽委員長）を設立。労働衛生セミナーの開催、健康障害防止対策基本方針の発表、健康障害防止対策パンフレットの配布など、各印刷事業所の健康障害防止対策推進に向け、活動を展開してきた。1年間の活動の成果として、各印刷事業所が使用している洗浄剤などの危険有害性の情報が十分でないこと、また、有害性の低いことがわかっている洗浄剤などの入手が困難であるという現状が把握され、印刷業界団体として、洗浄剤などの改善と情報提供などを関連業界、メーカーに要望することに踏み切った。

日本化学工業協会の要望書では、「健康障害防止対策基本方針では、より有害性の低いことが分かっている洗浄剤などへの切り替えをあげており、印刷事業者にとっては、リスク評価のための有害性に関する情報提供が重要である」との認識を示し、現状では情報提供が不十分と

指摘し、「労働安全衛生法への遵守措置及び従業員の健康を守る上でも、改善策を検討いただき、洗浄剤などの原料メーカー及び洗浄剤メーカーなど化学業界内に対しご指導をいただきたい」と強く要望。

〈要望内容〉

(1)SDSの記載内容充実及び確実・迅速な発行の徹底／特に、洗浄剤用途における有害性が特定できる化学物質名の明記と危険有害性情報・データの提供、SDS発行の徹底及び製品選定などのためのWebなどを利用したSDS情報の提供。

(2)より有害性の低いことが判別できる化学物質使用促進の啓発。

(3)有害性の高い化学物質を含んだ製品（有機則、特化則、がん原性指針該当製品など）を販売する際の販売店先への説明の徹底。一方、メーカー向けの要望書では、5つの内容を明示。

〈要望内容〉

(1)有機則など（有機則、特化則、がん原性指針）に非該当であるとともに、より有害性の低いことが明確な化学物質のみを使用した洗浄剤の開発と提供。

(2)より有害性の低いことが判別できる情報の提供及び明示、また、脂肪族塩素化合物、石油系炭化水素類などの含有に関する情報提供。

(3)SDS（安全データシート）の記載内容充実及び確実、迅速な発行。適用法令欄への有機則・特化則・がん原性指針の該当、非該当明記。洗浄用途における有害性が特定できる化学物質名の明記と危険有害性情報、データの提供。確実・迅速なSDS発行及び製品選定などのためのWebなどを利用したSDS情報の提供。

(4)有害性の高い化学物質を含んだ製品（有機則・特化則・がん原性指針該当製品など）を販売する際の販売先（印刷企業）への説明の徹底。

(5)日本印刷産業連合会が運営しているグリーンプリンティング資機材認定制度（洗浄剤などの認定制度）への参加。

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

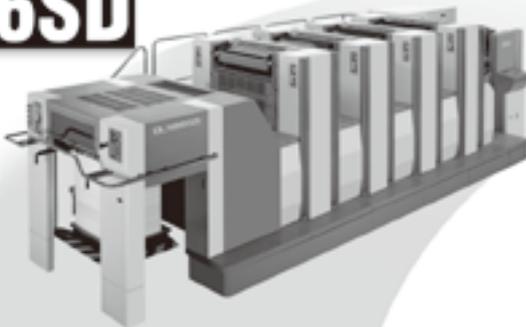
菊半裁4色印刷機

LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、
逆くの字調配列を採用した
正菊半サイズの省スペース機

大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種



得意先様へお送りするご注文の請求書は郵送します

Sakurai

株式会社 桜井クラフトシステムズ
http://www.sakurai-gs.co.jp

本社
〒135-0032 東京都江東区亀田2-2-0
TEL:03)3643-1131 (F) FAX:03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県高津市3951
TEL:0575)35-2551 (F) FAX:0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0912 大阪府淀川区東山田3-4-21
TEL:06)6308-6651 (F) FAX:06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL:092)741-2672 (F) FAX:092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県高津市3951
TEL:0575)33-1260 (F) FAX:0575)33-3146



障害者の法定雇用率が引き上げになりました

障害者雇用の支援制度の活用を！

中部地区印刷協議会でも話題になりましたが、この平成25年4月1日から障害者の法定雇用率が引き上げになっています。ご存知でしたか？

すべての事業主は法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務が生じています(障害者雇用率制度)。以下のように変わりましたのでご注意ください。

この障害者雇用率制度とはどのような制度なのか、次のようになります。

「障害者の雇用の促進などに関する法律」では、事業主に対して、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一位率(法定雇用率)以上になるよう義務付けています。(精神障害者については雇用義務はありませんが、雇用した場合は身体障害者・知的障害者を雇用したものとみなされます)。

この法律では、法定雇用率は「労働者(失業中の人も含む)の総数に占める身体障害者・知的障害者である労働者の総数の割合」を基準として設定し、少なくとも5年ごとに、この割合の推移を考慮して政令で定めるとしています。今回の法定雇用率の変更は、同法の規定に基づくものです。

●注意⇒従業員50人以上56人未満の事業主の皆さんは特に注意が必要です。

今回の法定雇用率の変更に伴い、障害者を雇用しなければならない事業主の範囲が従業員56人以上から50人以上に変わります。また、その事業主には以下の義務が生じます。

(1)毎年6月1日時点の障害者雇用状況をハローワークに報告しなければなりません。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成25年4月1日以降
民間企業	1.8% ⇒	2.0%
国、地方公共団体等	2.1% ⇒	2.3%
都道府県等の教育委員会	2.0% ⇒	2.2%

法定雇用率の引き上げ

(2)障害者雇用推進者を選任するよう努めなければなりません。

※障害者雇用推進者の義務／①障害者の雇用の促進と継続を図るために必要な施設・設備の設置や整備、②障害者雇用状況の報告、③障害者を解雇した場合のハローワークへの届出など。

●なぜ障害者雇用を進める必要があるのか？

障害者雇用を進めていく根底には、「共生社会」実現の理念があります。障害者がごく普通に地域で暮らし、地域の一員としてともに生活できる社会を実現するためには、職業による自立を進めることが重要です。なお、障害者雇用率制度に基づく雇用義務を履行しない事業主は、法律に基づき、雇入れ計画作成命令などの行政指導を受けるとともに、その後も改善が見られない場合、企業名が公表されます。

●障害者を雇用する場合に活用できる支援制度？

各種助成金や職場定着に向けた人的支援などがあります。◎職場定着支援、事業主への助言⇒地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、◎各種助成金⇒ハローワーク、高齢・障害・求職者雇用支援機構。

●詳細は、厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークまで問い合わせして下さい。

カラーもモノクロもページもの印刷得意です

◎厚紙印刷菊全4色0.8mmまで可
◎PP貼のみの仕事引き受けます

データから印刷・製本・発送まで自社一貫体制

大日印刷株式会社
☎0564-62-8461(代) ☎
FAX0564-62-8463

●印刷機械
●製本機械
●製本機
●DTP関連機
●印刷諸材料
●データ制作
●オンデマンド印刷
●データ出力

お役に立てる印刷関連総合会社

株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市中区栄町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0290
http://seikohnet.jp/

120余年の伝統に培われた信頼と先進のテクノロジー

日印産連・グリーン基準

労働安全衛生と緊急時対応の項目を追加・改定

「労安衛」と「緊急時対応」を基準化

一般社団法人日本印刷産業連合会（略称：「日印産連」、足立直樹会長）では、平成25年4月25日に日印産連「印刷サービス」グリーン基準の改定を行い、「労働安全衛生への配慮」と「緊急時への対応」の基準化を図った。基準改定の対象となるのは、オフセット印刷、シール印刷、グラビア印刷（軟包装）、スクリーン印刷全てのグリーン基準で、6ヶ月間の周知期間ののち、平成25年10月25日から実施となる。

〈基準改定の概要〉

労働安全衛生への配慮では、グリーン原則を「事業所内の作業環境を管理している」とし、具体的にはグリーン基準「労働安全衛生管理や作業環境管理を行っていること」を求めている。緊急時への対応では、グリーン原則を「地震、風水害、火災、震災、水害、停電等緊急時における対応が定められている」とし、具体的にはグリーン基準「緊急時における環境配慮を含む対応手順書を定めていること」を求めている。

グリーンプリンティング工場認定基準では、いずれの項目も必須（必ず達成しなければならない項目）としており、この結果、GP認定工場は環境配慮のほか、労働安全衛生及び緊急時対応の面においても対策を講じている工場として、広くアピールすることができるようになった。

また、オフセット印刷部門では、労働安全衛生への配慮としてさらに資材の配慮を加えているとともに、環境配慮型セッター、含浸型洗浄布の工程における使用も基準化された。

【基準改定の内容〈追加基準〉】

○基準改定の主旨

環境配慮工場として、労働安全衛生法への配慮並びに緊急時への対応策を準備しておくことが重要であるため。

○労働安全衛生への配慮

[グリーン原則①] 〈4印刷部門共通〉

事業所内の作業環境を管理している。

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-63 〒461-0018
TEL.052-931-2221(F) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
4月3日(水) ～ 9月27日(金)	事業名	印刷会社の社員研修会
	ところ	メディアージュ愛知 3階 会議室
	※開催職務又は教科の内容及び実施日程は組合ホームページでご確認ください。 http://www.ai-in-ko.or.jp ※1講座毎のお申し込みも受付けています。 ※新入社員向けの内容ですがどなた様でも受付させていただきます。	
7月12日(金) 13:00～ 17:00	事業名	アドビテクニカルセミナー 夏の陣 「Adobe Creative Cloudの概要と新機能」
	ところ	ウインクあいち 1201会議室
	参加費：購入社(ライセンス購入数の人数まで無料、それをこれを超える人数については5,000円/1人) 定員：90名※定員に達し次第締め切ります	
7月13日(土) 10:00～ 16:30	事業名	MUD教育検定(3級)
	ところ	ウインクあいち 1202会議室
	参加費：組合員13,500円、一般15,000円 学生5,000円 ※締切済	
8月30日(金) ～ 8月31日(土)	事業名	企業見学会
	ところ	(株)小森コーポレーション つくばプラント (株)メディアテクノロジー ジャパン ホワイトキャンパス MON-NAKA
	※近日中にFAXでご案内致します。	
9月27日(金) 18:15～ 20:30	事業名	ゼロから始める"見える化"セミナー
	ところ	ウインクあいち 1101会議室
	※詳細調整中	
9月29日(日)	事業名	平成25年従業員・家族合同レクリエーション大会
	ところ	馬籠宿ウォーキング・リンゴ狩り
	※詳細調整中 ※会社・支部でのバス貸切は1台につき¥105,000	

[グリーン基準]

労働安全衛生管理や作業環境管理を行っていること。

[グリーン原則②] 〈オフセット印刷部門のみ〉

資材について法規制及び有害性の特定を行っている。

[グリーン基準]

健康に配慮し、有害物質の不使用に取組んでいる。

〈水準-1〉

取扱う工程の全てについて、GP資機材認定製品のスリースターのみ使用していること。

〈水準-2〉

取扱う工程の全てについて、GP資機材認定製品のワンスター以上またはみなしGP製品を使用していること。

○緊急時への対応

[グリーン原則] 〈4印刷部門共通〉

地震、風水害、火災、震災、水害、停電等緊急時における対応が定められている。

[グリーン基準]

緊急時における環境配慮を含む対応手順書を定めていること。

■「Japan Color認証制度」取得セミナーより

Japan Color 認証制度の 現状と取得効果

「印刷品質の向上」「社員の意識向上」で 「企業体質強化」

セミナー会場



一般社団法人日本印刷産業機械工業会（JPMA：宮腰蔵会長）Japan Color 認証制度事務局主催により、Japan Colorのさらなる普及と啓蒙を兼ね、5月28日名駅前の愛知県産業労働センター・ウイंकあいちにおいて、「Japan Color認証制度取得セミナーin中部」が開催された。セミナーでは、「Japan Color認証制度の現状と取得効果」、「認証取得の手順及び方法」が具体的に説明された。その中から、取得企業の実例を紹介する。

【Japan Color認証制度とは】

ISO国際標準に準拠し、日本のオフセット枚葉印刷における印刷色の標準に基づいて認証を行なう制度。現在、標準印刷認証の取得工場は115工場、この内31工場がマッチング認証に移行、ブルーフ運用認証は51工場、ブルーフ機器認証は71社。（平成25年5月現在）

【取得印刷会社の事例】

□A印刷会社の事例（大手印刷会社）

H22／3 標準印刷認証取得→H24／6 マッチング認証取得、H24／3 ブルーフ運用認証取得

〈取得動機〉

企業イメージ向上＝社内基準を設けて標準化を推進してきたが、ISO準拠の色基準を早期に取得し、Webサイトでの認証取得の告知をはじめ、営業ツールとして活用する。

〈取得後効果〉

①企業イメージ向上→有利なビジネス展開＝クライアントのJapan Colorに対する認知度が高く、仕事の引き合いがあ

る。発注者からすると印刷物も工業製品。規格があって当たり前。②印刷品質の安定＝色基準で決まっていれば、スムーズかつ大きな調整がなく刷りだせる。リピートの仕事であってもログを取っておけば、前に近い状態で容易に刷れる。

□B印刷会社の事例（関西拠点の印刷通販系会社）H22／7 標準印刷認証取得、H25／1 マッチング認証取得

〈取得動機〉

印刷品質の安定＝技術的な蓄積がない中での製版業から印刷業に転換。「標準印刷」による安定化がキー。基準は、Japan Colorで数値管理を徹底。限りなく100%に近い安定品質を提供。

〈取得後の効果〉

①コストダウン→有利なビジネス展開＝破格の短納期と低価格。安定品質の「極小ロット」を実現。新しい印刷ビジネスモデルを構築。②スキル向上・企業体質向上＝全社員が勉強し、現場での数値による意思疎通とお客様とのコミュニケーション力が向上。他社に真似できない高品質、良いサービス、豊富な商材を提供できる。よりシステムチックな生産体制構築に貢献。

□C印刷会社の事例（中国地区の総合印刷会社）H22／3 標準印刷認証取得

〈取得動機〉

①印刷品質の安定＝色に関するトラブルを減少させ、企画から印刷までの全工程で、Japan ColorによるCMSを確立。②協力会社との体質強化＝Japan Colorを協力会社との共通色基準として協業体制を構築。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社 www.toyoink.co.jp

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 le丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

〈取得後の効果〉

①印刷品質の安定＝3ヶ月に一度の定期チェック体制が定着し、安定した印刷が可能となり、生産性も工場、大きな効果を生み出す。②協力会社との体制強化＝関連会社もJapan Color 標準印刷を取得し、協業体制も確立できた。③スキル向上・企業体質向上＝社員の意識が大きく変化し、最終目的であるCMSを含め全ての面で標準化するマネジメント体制確立が可能となった。

□D会社の事例（同人誌主体の印刷会社）H24／11標準印刷認証取得

〈取得動機〉

印刷品質の安定化＝誰が刷っても同じ色に仕上がるようにしたい。

〈取得後の効果〉

①有利なビジネス展開＝1)顧客の信頼度アップ：色に関するトラブルが少ないとの評価を得ていたが、認証取得で同社を使って正しかったという根拠を与えた。2)広色域印刷・POD印刷にも展開：Japan Color基準を柱に、広色域印刷・POD印刷の安定化が進んだ。②社員の意識改善＝認証取得で今まで我々がやってきたことが正しかったと証明され、モチベーションアップに繋がった。

□E印刷会社の事例（関西地区の総合印刷会社）H22／12標準印刷認証取得

〈取得動機〉

さらなる品質向上に取り組む＝30年近く続けている品質改善活動を、取得によってさらに活性化させる。

〈取得後の効果〉

①有利なビジネス展開＝取得したことによって、今まで以上にしっかりした品質管理体制をアピール、顧客との信頼性アップに繋がった。②印刷業界の価値向上＝Japan Colorが普及することによって、自社の刷りも安定するが、日本の印刷品質向上に貢献するとともに、業界の価値向上にも繋がる。

□F印刷会社の事例（関東地区の印刷専業会社）H22／7標準印刷認証取得

〈取得動機〉

品質改善活動の集大成＝CTP化、デジタル化などの技術変化に対応するためには、標準化が必要。この品質管理（標準化）活動の集大成として取得する。

〈取得後の効果〉

①作業の効率化＝校正刷りに合わすことから、まずはJapan Color基準で刷り出し、その後、校正刷りに合わすことで刷り出し時間の短縮になった。②理論的に色が語れる→社員のレベルアップ。無理やり色校正刷りに合わすのではなく、合わない場合は、合わない理由を発注者に理論的に語り、着地点を相互に見つけることができるようになった。③顧客の信頼性向上→有利なビジネス展開。ここに頼めば、しっかりした印刷物を仕上げてくれるという信頼感が、認証を取得することによってさらにアップした。公的機関から認められている。

【認証取得効果のメリット】

①企業イメージの向上／ISO準拠の認証を取得することに

【審査料】（消費税込み）

□標準印刷認証／事前審査料105,000円、本審査料210,000円、登録料52,500円＝合計367,500円。

□マッチング認証／審査料157,500円、登録料52,500円＝合計210,000円。

□ブルーフ運用認証（ブルーフ機器取得済み）／審査料105,000円、登録料52,500円＝合計157,500円。追加審査料（1年以内）52,500円。

□ブルーフ運用認証（ブルーフ機器未取得）／審査料210,000円、登録料52,500円＝合計262,500円。追加審査料（1年以内）105,000円。

□ブルーフ運用認証／初回審査料367,000円、登録料52,500円＝合計419,500円。（追加審査料）105,000円。

より、印刷物及びブルーフを作成する上での高い能力を、日本国内のみならず海外にもアピールすることができる。②印刷品質の安定／標準化により、品質の安定した印刷物がスピーディーに作成できる。③コストダウン／標準的な印刷条件を基準に印刷すれば、損紙は減少し、インキ使用量も削減でき、生産性向上に繋がるとともに、経費削減を実現できる。④取引上の利点／印刷基準が顧客などの取引条件や入札などの条件になった場合、有利に取引を行なうことができる。⑤環境負荷の低減／印刷とその色校正に伴う作業や人の移動などの社会的経費及び運送に伴うCO₂が削減される。

【4つの認証制度の内容】

□標準印刷認証（対象：印刷会社）

内容：印刷機械のメンテナンスと数値管理などによって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力について認証。

□マッチング認証（対象：標準印刷認証取得会社）

内容：標準印刷認証を取得していることが前提になる。高度なカラーマネージメント技術を駆使して、印刷物の色を基準値の許容幅に入れることができる能力などについて認証。

□ブルーフ運用認証（対象：デザイン会社及び印刷会社など）

内容：個々のブルーフ機器を実際の現場で正しくメンテナンスし、適正に運用することにより印刷用途に使用できる信頼性の高いブルーフを安定的に出力することができる能力を認証。

□ブルーフ機器認証（対象：ブルーフ機器メーカー及びベンダー）

内容：ブルーフ機器が印刷用途に使用できる信頼性の高いブルーフ（出力物見本）を安定的に出力できる機能があるかどうかを認証。

■その他詳細は、日本印刷産業機械工業会Japan Color認証制度事務局：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館

TEL03-6809-1617 FAX03-6809-1618

<http://japancolor.jp>

印刷機材団体協議会「JGAS2013」

10月2日(水)～5日(土)／東京ビッグサイトで開催

印刷機材団体協議会（宮越蔵会長）は、10月に開催する「JGAS2013」の開催概要を発表した。それによると、開催日は10月2日～5日までの4日間、開催場所は東京ビッグサイト。「Print+αプリントメディアの新たな挑戦！」をテーマに、東館1・2・3・6ホール、208社1342小間の規模で開催される。

〈JGAS2013〉

- ▽主催者＝印刷機材団体協議会
- ▽統一テーマ＝「Print+αプリントメディアの新たな挑戦！」
- ▽開催期間＝10月2日(水)～5(土)
- ▽開催時間＝午前10時～午後5時（最終日は午後4時）
- ▽会場＝東京ビッグサイト東館1・2・3・6ホール
- ▽小間数＝1342小間
- ▽出展社＝208社
- ▽入場料＝当日2,000円、事前登録1,000円
- ▽後援＝経済産業省・東京都・日本貿易振興機構・(社)日本印刷産業連合会・(社)日本印刷学会・(社)日本印刷技術協会・(財)デジタルコンテンツ協会・全国段ボール工業組合連合会・デジタルサイネージコンソーシアム

〈4つの「+α」〉

- ①「+Session」

東館6ホールすべてを利用。500～600名収容の大規模セミナースペースを設置し、デジタルプリント分野を中心とした講演、セミナー、パネルディスカッションの他、全印工連フォーラム2013やJAGATプレミアセミナー、日本印刷学会秋季セミナーなども開催する。また、50名～100名規模のセミナースペースも用意し、展示と連動したプレゼンテーションの場を提供する。

②「+Tour」

JGASの見所を解説する見学ツアーをスタンダード、プレミアム、テーマフォーカスの3つのコースで、1日26回、会期中延べ4,000人規模で実施する。また、英語、中国語、韓国語によるツアーの実施も予定。

③「+Park」

プリプレス、プリメディア、印刷機械、ポストプレス、印刷関連資材、周辺機器等に新製品、最新技術、サービスを一堂に展示する。これに加え、フレキシ印刷、アプリケーション、ITシステム、環境、JapanColorなど多彩なテーマゾーンを設置。

④「+live Studio」

ライブイベントやデジタルサイネージによる情報発信を行う特別スペースを設置。公式ガイドブック、公式カタログの無料配布。

を解説する動画で、内容は、1つのチラシを例題とし、そのチラシを発注するための具体的な書き方を仕様書の順に沿って説明している。

動画には、ウィンドウズ版とマッキントッシュ版があり、それぞれに高画質と低画質のものを用意することで、幅広い視聴環境に適應できるようにしている。また、仕様書の流れに沿って順に14の動画に分かれている。1つの動画の長さは1分前後になっており、これにより仕様書の記入に関して不明な点だけ抽出してみることができ、また、すべての動画を順に見ることも可能になっている。パンフレット、冊子、封筒なども作成予定との事。

事務局だより

■平成25年度上期会議が富山県で開催されました関係で、全印工連関連の記事が多くなりました。事業計画などは、今後の1年間の指針ですので、是非、一読をお願いします。

【お知らせ】

お気づきの方もいるかと思いますが、「あいちの印刷」が今号で500号を迎えました。これを記念し、別冊スタイルでの「あいちの印刷／500号記念誌」を制作すべく準備をしております。500号までの経緯を振り返るとともに、今直面しているいろいろな課題を掘り下げ、組合員皆様のお役に立つ情報をお届けしたいと思います。ご期待下さい。なお、発行は10月を予定しております。

■Pickup Data

□「全印工連フォーラム」開催

全日本印刷工業組合連合会の「全印工連フォーラム」は、10月4日(金)東京ビッグサイト（東京・江東区有明）において開催され、「産業成長戦略ビジョン」が発表される。丁度、上記のJGAS2013も同じ会場で開催されているので、見学も兼ね出掛け下さい。

□岐阜県工組がホームページに「印刷物発注の手引」掲載

岐阜県印刷工業組合の不正取引対策委員会は、組合ホームページ

に「印刷物発注の手引」と題したコーナーをアップした。今回は、岐阜県庁が印刷物の発注に使用している「印刷物仕様書」についての記入例

あいちの印刷

No.500

平成25年 7月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL 〈052〉962-5771

FAX 〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp